

5)

著 者：北村文昭，長尾勲，松永勝也，小森弘詞，杉元俊彦

論文題目：ドライバの交通法規に対する意識と，先急ぎの傾向についての調査

論文集名：日本交通心理学会第46回大会発表論文集

発表年月：1992（平成4）年11月

頁 : 26-28

# ドライバの交通法規に対する意識と、先急ぎの傾向についての調査

北村文昭\* 長尾勲\*\* 松永勝也\* 小森弘詞\*\*\* 杉元俊彦\*\*\*  
 \*九州大学文学部 \*\*九州産業大学教養部 \*\*\*豊前自動車学校

## はじめに

今日の交通状況は、ドライバと車の増加のために極めて深刻な状況に陥っている。その中で当事者であるドライバが、円滑な交通事象を促進するために設けられた交通法規に対してどのような意識を持っているのか、また、飽和状態と呼べそうな交通事情に対してどのような態度で臨んでいるのかを主として「先急ぎ」の点から調査しまとめた。

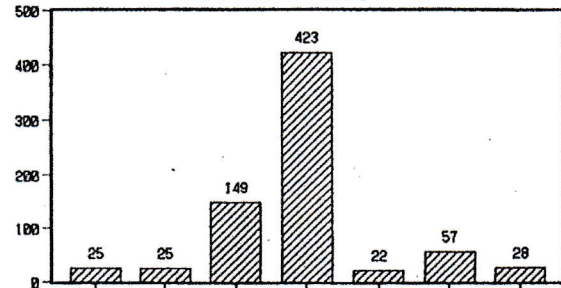
## アンケート 1

目的：交通法規を守りにくい理由についての意識調査。

被検者：大学生487名，一般社会人276名。（男433名，女55名，不明274名）。（免許有593名，免許無161名，不明9名）。

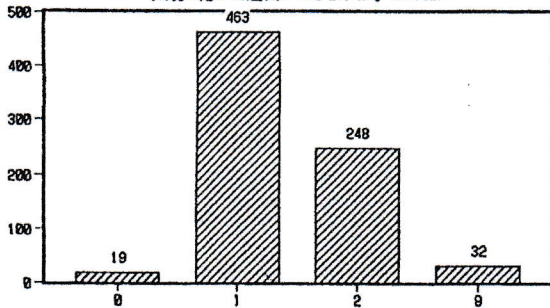
調査期日：1992年5月。

Q1. 交通法規を守ってゆっくり運転できるのは、どのような時ですか。(n=762)



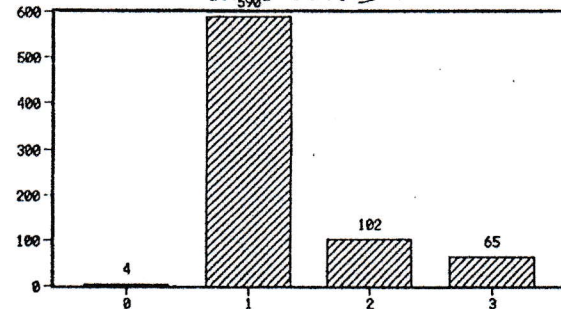
- 0...無回答
- 1...そのような時はない
- 2...周囲もゆっくり走っていて、あおられたりする心配がない時
- 3...時間的に余裕がある時
- 4...急いでも早く着かないとわかっている時
- 5...常に法規は守っている
- 6...その他

Q2. 周囲がゆっくり走っていたら法規に沿った運転ができますか。(n=762)



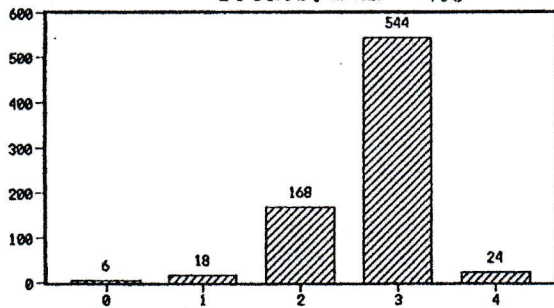
- 0...無回答
- 1...はい
- 2...いいえ
- 3...その他

Q3. 交通法規を守ることは得だと思えますか損だと思えますか。(n=762)



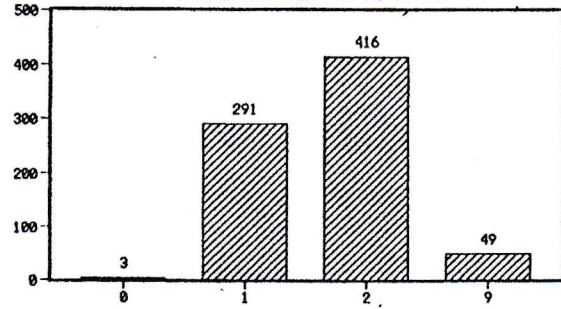
- 0...無回答
- 1...どちらかといえば得
- 2...どちらかといえば損
- 3...その他

Q4. 急いでも早く着かないとわかっていたらどうしますか。(n=762)



- 0...無回答
- 1...とぼすこと自体気持ちいいので、とぼすと思う
- 2...スピードは出さない方が安全なので、ゆっくり走る
- 3...やはり周囲に合わせて、ある程度速い速度で走る
- 4...その他

Q5. スピードは、速く出せば出ただけ、早く目的地に着くと思えますか。(n=762)



- 0...無回答
- 1...はい
- 2...いいえ
- 3...その他

Q1. 時間的に余裕があるとき、法規を守ってゆっくりと運転できると答えた者が、58%である。

Q 2 : 時間に追われていたり、周囲の車とのスピードの差を気遣うので法規を守り  
 難いと思う者が、60%を越える。

Q 3 : 80%近くの回答者が、交通法規を守ろうとしていると思われる。

Q 4 : 急いでも早く着かないと分かったとき、それでもスピードをだすと答えた者  
 は、わずか2%である。一方、周囲の人に合わせると答えた回答者は、72%にの  
 ぼる。

Q 5 . スピードを出せば、早く着くと考える者は、30%を越えている。

まとめ：一般に多くの回答者が交通  
 法規を守ろうと心がけているが、一  
 方でその時の交通状況、いわゆる  
 「流れ」に気を使っており、心的葛  
 藤が伺える。

### アンケート 2

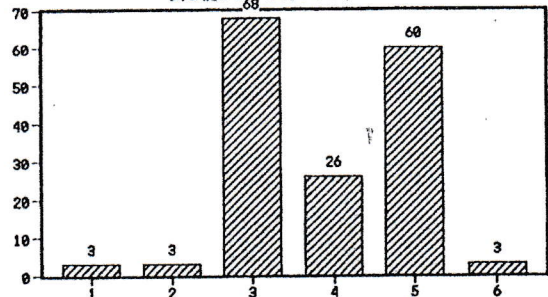
目的：大学生免許保有者の交差点で  
 の先急ぎに関する意識調査。

被検者：大学生193名。性別不明。

全員運転免許を持っていた。

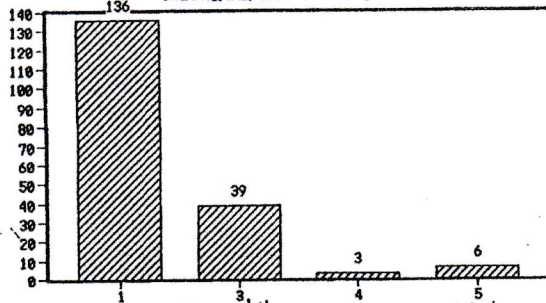
調査期日：1992年5月。

Q1. 信号のある交差点を右折するとき、最も  
 気を使うことは何ですか。(n=193)



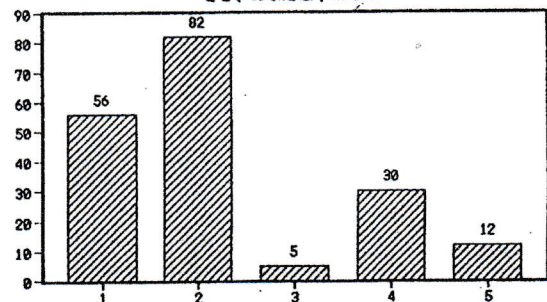
- 1... できるだけ早く右折して、後続の車に迷惑をかけないようにする
- 2... 信号
- 3... 横断歩道の歩行者
- 4... 対向車はこちらの動きに気づいているか
- 5... 安全に右折できる余裕があるか
- 6... その他

Q2. 交差点を右折する時について、普段のあ  
 なたに最も当てはまるものは。(n=193)



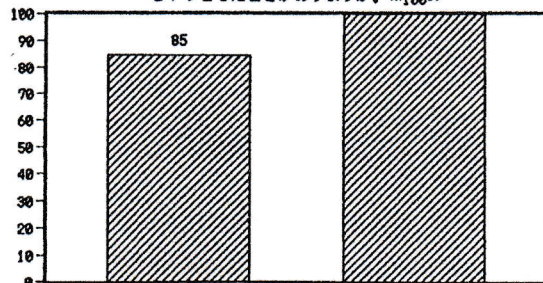
- 1... 安全に曲がれるようになるまで十分待つ
- 2... 対向車に軽くブレーキを踏ませる程度の距離ならば曲がる
- 3... 少々無理をしても急いで曲がる
- 4... その他

Q3. 交差点でなかなか曲がることができない  
 とき、あなたは？(n=193)



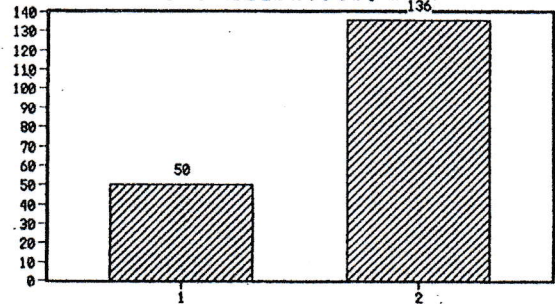
- 1... イライラする
- 2... のんびり待つ
- 3... あわてる
- 4... 気持ちが急ぐ
- 5... その他

Q4. 対向車との距離が不十分のまま右折して  
 ひやっとしたことがありますか。(n=193)



- 1... ある
- 2... ない

Q5. 右折時に横断歩道上の歩行者と擦れしそ  
 うになったことがありますか。(n=136)



- 1... ある
- 2... ない

Q 1 : 交差点では、多くの回答者が歩行者に注意を払っていると答えている。

Q 2 : 70%以上の者が、安全な状態を待って交差点を通過すると答えている。

Q 3 : 交差点でなかなか曲がれない時、のんびり待つ者は40%あまりだが、いら  
 いらしたり、気持ちが急ぐなどの回答者も40%を越える。

Q 4 : 事故につながる恐れのある状況を半数近くの人が経験している。

Q 5 : 交差点での歩行者とのトラブルを70%を越える回答者が経験している。

まとめ: 多くの回答者が、主観的には交差点での注意深い運転を心がけていることが伺えるが、実際の運転時に事故につながるような体験を持つ者も多い。このことは交差点でのより一層の安全運転の心構えが要求されていることを示唆する。

### アンケート3

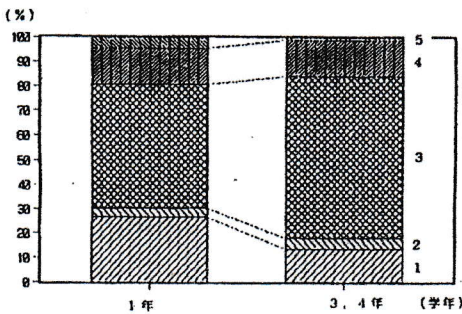
目的: 大学生の先急ぎに関する意識調査。

被検者: 大学生374名(1年15

2名, 3, 4年222名)。全員男。

(免許有267名, 免許無107名)。

期日: 1990年4月~5月。



問9. 目的地への到着を急ぐとき、一時停止指示や交通信号などで停止せざるをえない場合がありますが、このようなときあなたはどのようにしますか。当てはまるものを1つ選んで下さい。

1. 平素は交通法規を守っているが、このようなときは無視して、進行可能であれば、停止することなく進行し、目的地への到着を急ぐことがある。
2. 平素も交通法規を余り守っていないが、このようなときはなおさら無視し、可能であれば、停止することなく進行し、目的地への到着を急ぐことがある。
3. 平素、交通法規を守って走行することを心がけているが、(それでも急いでいる時は)停止している間、いらいらする。
4. 急いでいるときでも、交通法規を守るのは当然であって、それでいらいらすることはない。
5. その他 ( )

問8: 実際に先急ぎをする者が20%ほど、また、精神的にいらいらする者を含めると先急ぎ運転に関与する者は、70%近くに達する。

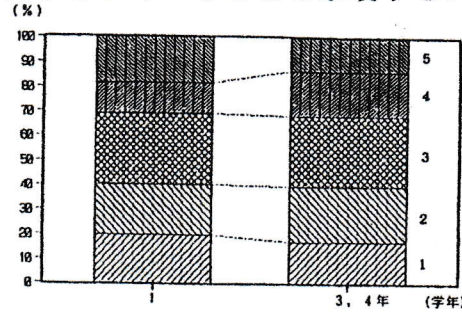
問9: 実際に交通法規を遵守しないという答えが20%前後あり、交通法規に従うことので精神的にいらいらする者を含めると80%を越える。

問13: 目的地につくために先急ぎすることがよくある者が20%、ときどきあると答えた者が50%ほどいる。

まとめ: 先急ぎやその結果としてスピード制限を遵守しない傾向が全体的に伺える結果となった。

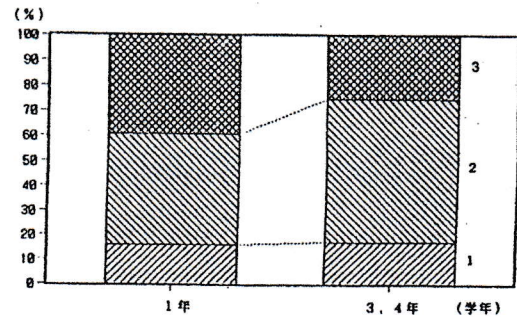
### 全体的考察

多くの回答者が交通法規の重要性を認識しているが、その一方で道路状況との折り合いや交差点の通過のときなどでストレスを感じていると思われる。先急ぎ運転については、アンケートの質問の仕方や対象者、施行時期によって必ずしも明確な傾向はつかめなかった。今後の研究の展開が望まれる。



問8. 例えば、何かの理由で登学時間がいつもより遅くなり、大学の始業時間に遅れそうになった時、あなたはどのようにしますか。当てはまるものを1つ選んで下さい。

1. 大学への到着を早めようとして、法定速度や一時停止指示などを無視して、急ぐ(移動速度、運転速度を上げる)ことがある。
2. 速度を上げたいが、渋滞や、交通取締りなどによって速度を上げることができないので平素の速度で移動せざるを得ないが、気持ちは落ち着かない(いらいらする)。
3. 平素の早さで移動するが、気持ちは落ち着かない。
4. 平然と、平素の速度で移動する。
5. その他 ( )



問13. あなたは遊びで自動車を運転し、目的地に出かけ、そして、帰宅するとき、早く目的地(自宅)に着こうとして、気持ちは急ぎ、自動車の速度を上げることがありますか。当てはまるものを1つ選んで下さい。

1. よくある
2. ときどきある
3. いいえ